

環境の都ニュース

2023.10.1 NO.117

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：西村日出男

編集者：安楽 裕子

未来を紡ぐ学校づくり



長岡第四小学校 校長 吉岡 学

私自身が環境教育に携わってかれこれ30年ほど経っています。はじめは自然保護や生態系の環境問題への関心が強かったのですが、エネルギー問題や地球温暖化等の環境問題へと広がっていきました。そんな中、この「環境の都づくり会議」にも幾度か顔を出させていただいたことを覚えています。今回は、私が長く勤めています長岡第四小学校の「再整備（学校建替え）事業」についてご紹介させていただきます。

長四小は2026（令和8）年度に完全リニューアルオープンします。私が校長として赴任した2020（令和2）年度は、コロナ禍真ただ中とともに、完全建替えの基本設計を考える年でもありました。4.5月の臨時休校の影響で夏休みが2週間となった年でもあります。世の中全体がコロナ禍に追われ、学校も例に漏れず、明るい話題は東京オリンピックだけでした。今振り返ると、かなり昔ごとにも感じますが、たった3年ちょっと前の出来事です。

少しでもその淀んだ空気を払拭できないかと考えたことが『未来を紡ぐ学校づくりコンテスト』でした。たった2週間しかない夏休みに、校長だけ宿題を出したのです。「家族で顔を突き合わせ、新しくできる学校の設計図を考える」というmissionです。その中に「環境にやさしい」というテーマも盛り込みました。夏休み明けには約70%の家庭からの設計図が集まりました。家族会議を何度も繰り返し、家族総出で作成したと思われる完成予想図（設計図）は、実に素晴らしい作品ばかりでした。

また、その年の11月には、参加できなかった児童の声も届けようと、1～6年全学級での『未来を紡ぐ学校づくりワークショップ』も実施しました。ここでは、設計事務所や教育委員会から各班にコーディネーターとして入ってもらいました。これで100%の子どもたちの声を設計図に届けることができたのです。実際に実現する子どもたちの声を一部紹介します。

自然エネルギーを取り入れてほしい ▶ 20kwの太陽光発電システムを導入
花や生き物がいっぱい、川があったらいいなあ ▶ 川が流れるビオトープ（雨水利用）
雨の日でも遊べるグラウンドが欲しい ▶ 体育館と校舎の間に大屋根を設置
芝生のグラウンド（広場）が欲しい ▶ グラウンド周辺に芝生休憩エリアを設置
屋上に自由に行きたい ▶ 西山を見渡することができる屋上展望デッキを設置
雨水を利用、いろいろな野菜を育てたい ▶ 地下に雨水を貯留し、菜園の散水にも利用
楽しい遊具がいっぱいほしい ▶ ボルダリングができる総合遊具を設置

子どもたちの環境に対する意識の高さが伺えます。これ以外にもたくさんのアイデアが設計図に盛り込まれていきました。未来を紡ぐ子どもたちが設計した長岡第四小学校が、今、生まれ変わろうとしています。



2023 年度も折り返しを迎えました。前半を振り返り、秋以降の活動に備えると共に、皆さんからの一層のご支援をお願いしたいと思っています。

<5月> 筍の後の竹林整備（サバエ刈りなど）のほか、Y 保育園の恒例のゴーヤーネットの張替え（高さ 8m、幅 5.4m）を実施。南向きの総ガラスの保育室のグリーンカーテン設置に延べ 10 人ほどで取り組みました。

<6月> 井ノ内、粟生、天神公園の竹林の間伐と雑草刈りを実施。週に一度、午前中のみでの作業ですが、体力の限界と闘いながらも楽しんで取り組みました。また、向日が丘支援学校中等部の竹伐り指導や西山公園体育館の花壇整備にも取り組みました。

<7月> 天神公園竹林の 2 度目の草刈りと伐採した竹の焼却のための搬出を実施。また、立命館中学生 8 名の竹伐り指導、保育園 6ヶ所への七夕の笹の提供、打ち水大作戦用の竹の柄杓 30 本の製作なども行いました。

<8月> 8月 は竹林整備作業休止期間ですが、長三中（体育祭用）、北摂こども文化協会（いけだ花燈火用）、自治会など 3ヶ所への竹の提供のための伐採作業、支援学校祭用絵画展示台づくりなどを行い、なかなか休む

時間がありません。9月からはまた本格的に 10か所の放置竹林整備作業が始まります。高齢にもかかわらず、愚痴も言わず、黙々と作業に従事してくれる皆さんの姿に感謝です。来年も美味しい筍が取れますように。そして、皆さんに喜んで貰えますように・・・。



環境月間の行事として、長岡京市環境の都づくり会議、京都府温暖化防止活動推進センター、長岡京市環境政策室が共同で、市役所のロビーで省エネ相談会を開催しました。「省エネ相談会」とは、会場へ来られた方に、日常生活について簡単なアンケートに答えていただき、診断書を作ります。その内容について相談員といろいろ話をし、家庭の省エネに役立ててもらいたいイベントです。同時に、省エネに関連するパネルや、各種省エネタイプの電灯の展示も行いました。

相談員の方々の感想です。

私が相談や話をさせて頂きました方々では戸建て住宅の方もおられましたが、まだ新しいマンションに移られた 3組のご家庭では省エネ対策への関心が高く驚きました。マンションでは照明の LED 化は勿論のこと、建物としての断熱対策も既にされているようでした。市民の方々と話し合いをすることで個別の事情を考慮対応することの大切さを知る貴重な相談会となりました。

会場の市役所のロビーは広くて、どのようにレイアウトするかも悩ましい問題の一つでした。久しぶりの開催で、戸惑いもあったでしょうし、正直結構大変でしたが、皆で助け合って無事終了することが出来ました。



① 向日が丘支援学校は校舎建替えのため、この 9 月から令和 9 年まで旧済生会病院跡地に移転します。取り壊される校舎の各所に子供たちは思い思いに絵筆を走らせた。PTA と学校はこの記憶を留めるため、絵画の写真をラミネート処理して移転先の仮校舎での学校祭（11/2～3）で展示されることになりました。長年に亘り支援学校の子供たちの学習のお手伝いをしてきた私たち環境の都づくり会議もこのお手伝いのため絵画の展示台を 4 種類ほど製作、提供しました。学校祭での子供たちの反応が楽しみです。

② 9月9日、長岡第四小の生徒 3 名とサポーター 2 名がすすく教室川遊び（西代里山公園横の小泉川）に来てくれました。

暑さのためか今回は少し寂しい行事になりましたが、久しぶりの屋外での活動を楽しんでくれました。9月とはいえ日中の温度は 36℃。川や水に関する勉強の後、水温 25℃の爽やかな流れに入り、サワガニ、川エビ、ゴリ等の採取と水遊びに一時の涼を得て、楽しい時間を過ごしてくれました。



SDGs は道なかば

PJTリーダー 西村日出男

グテーレス国連事務総長は「地球沸騰化 global boiling の時代が到来した」と警告しました。また、ロシアのウクライナ侵攻や核兵器の使用予告など、平和を脅かす「世界の分断化」がとても気になります。しかし、政治や制度の変更を俟（ま）つことなく、この地域で自分たちができることを一緒に話し合い、活動していきたいと思っています。たとえば、南米アンデス地方に伝わる民話「ハチドリのはたとすく」のような「打ち水大作戦」などです。そして我らのふるさと・地球がみんな楽しく共に生活できるところにしていきたいと思っています。



地球猛暑化に花壇も対応必要！

PJTメンバー 奥西弘武



花壇の水遣りに時間をかけられない我々メンバーにとって、大変つらい高温乾燥の天気が続きました。7月はじめの長雨で、水やりに行く機会が減り、草引きができませんでした。7月20日に体育館庭園の整備に入ったところ、雑草の合間の花はヨレヨレでした。仕方なく緑の協会に依頼して急遽150株の花苗を提供いただきました。その後天気は高温乾燥続きとなり、大会まで連日の水遣り体制を取り、若葉カップバトミントンの大会に間に合わすことができました。

全国から集まった選手たちの記念撮影の舞台はこの庭園が定番になっているのです。今後も地球猛暑化は続くと考えられ、特に体育館花壇の植え込みの検討が必要です。

楽しい竹ランタンづくり

森なかま 河波優衣

こんにちは！京都府立大学森林ボランティアサークルの「森なかま」です。私たちは、森や竹林のお手入れや木工などを楽しむサークルです。西山ファミリーには毎回参加させていただいており、いつもは子どもたちと自然観察や一緒に季節の遊びを遊んでいます。今回ばかりは私たちの見せ場！！「森なかま」が木工のレクチャーをする番です。

これまでに竹ポックリや竹マラカスなどを作ってきましたが、今回は夏の風物詩「竹ランタン」に決めました。当日は、紙やすりで飛び出した竹の繊維を磨きながら竹の性質を肌で感じたり、好きな植物を障子窓に貼ったりして美しい作品ができました。「もっともっと」とたくさんの植物を全体に貼り付けたり、はみ出るほど壮大にクレヨンで色とりどりの絵を描いた子どもたちの自由な発想から生まれた作品はどれも子どもにしか作れない味があって素敵！竹ランタンの後は、水遊びして、美味しいスイカを食べて、小学生たちは夏休み最後の楽しい週末になったのではないのでしょうか。私たちも小さい頃を思い出しながら、豊かな時間を過ごしました。



環境の都づくり会議がサポートしている西山森林整備推進協議会主催の西山ファミリー環境探検隊夏の部は8月26日(土) 西代(にしんだい) 里山公園で実施されました。毎回夏の部の工作は京都府立大学「森なかま」さんに、企画・指導していただいています。今回は報告もお願いしました。



犯罪・暴力のない
毎日を
つくりたい。



TEL 953-7903
FAX 953-8860



店内通路も広くゆっくりお買い物ができる
地域密着型のお店。 **リバティ長岡店**



●〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目1-23 ●TEL: 075-953-2501
●営業時間 /9:00~21:00 ●年中無休(元旦のみ休み) ●FAX: 075-951-0305

<http://liberty-nagaoka.com>

「動植物の絶滅、6割は外来種が要因」 初めて世界規模の報告書

23/9/4(月) 毎日新聞抜粋

動植物の絶滅事例の約6割は、人間や物資の移動に伴って本来の生息地以外に持ち込まれた「侵略的外来種」が要因だったとの報告書を、世界中の科学者が参加する「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES)」が公表した。

経済的な損失は世界で年4230億ドル(約62兆円、2019年時点)超で、今後増加が予想されるという。

侵略的外来種問題に特化した世界規模の報告書が公表されるのは初めてで、日本を含む49カ国86人の専門家が1万3000以上の文献を基に、各地への侵入の状況や影響、対策についてまとめた。

報告書によると、世界各地では既に外来種3万7000種以上が確認されており、このうち生態系に悪影響を与える有害な侵略的外来種は3500種以上に上る。現在も年200種という過去に例のないペースで侵入が続いている。



←ホテイアオイ

悪影響の報告数が多い侵略的外来種

- ①ホテイアオイ ②ヒアリ ③カワホトトギスガイ
- ④ミカンコミバエ ⑤オニツリフネソウ
- ⑥ハリエンジュ(ニセアカシア)
- ⑦Chilo partellus(メイガの一種)
- ⑧アフリカマイマイ ⑨イタドリ ⑩コイ

※報告数の多い順。IPBES 報告書による (文責：江川宗治)



ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越 聡

2023年環境年間行事日程 直近版(10月~12月)

| | 共通、広報 | 里山再生・西山F環境探検隊 | ビオトープ | 竹林再生 | 花を咲かそう | エコ(地球温暖化防止等) | こここCOライブ、等 |
|----|---|--|--------------------|--|-----------------------|---------------------|---------------------|
| 10 | 環都ニュース発行(10/1) 環都月例会(10/10) サボセンフェスタ(10/22) | 森林ボランティア(10/1) 森林ボランティア(10/15) サボセンフェスタ(10/22) | | 竹林整備活動(10/2,8,16,22,30) | 花壇整備 | 環境の都ニュースに記事掲載(10/1) | 環境の都ニュースに記事掲載(10/1) |
| 11 | 環都月例会(11/14) | 西山F環境探検隊(11/5) クリスマスリース(11/19) | すくすく炭焼き体験予定(11/25) | 竹林整備活動(11/6,12,20,26) 向日が丘支援学校祭(11/2~3) | 花壇整備 | | |
| | 長岡京市環境フェア(11/26) | 環境フェア・農業祭(11/26) | | 3PJT 合同例会(11/19) | | 環境フェアに出展(11/26) | |
| 12 | 環都月例会(12/12) 京都環境フェスティバル(12/?) | 森林ボランティア(12/3) 森林ボランティア(12/17) | | 竹林整備活動(12/4,10,18,24) | 花壇整備 正月飾り製作(12月中旬) | ニュース記事打ち合わせ | 市民大学(12/21) |
| | | | | 3PJT 合同例会(12/17) | | | |

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは西村まで。Tel. 080-3825-2460
E-mail sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：西村日出男宅内
〒617-0817 長岡京市滝ノ町2-20-6

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容と写真などがあります。



編集後記

その昔、2月は如月と言われていました。それは寒さが厳しいので、衣を更に着る意味だそうです。最近の地球は熱いのに衣更着しています。蒸発は表面ですが、ひよっとしたら水の惑星の海水が内部から蒸発し出したので沸騰と表現されたのかもしれない。比喻であればいいのですが。(西村日出男)